

# 福島経済マンスリー

4月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

## 1. 平成27年4月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動や消費動向の一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では2ヵ月ぶりに前年比で増加した。一方、新車登録台数は、13ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月連続、保証金額が3ヵ月連続、請負金額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が4ヵ月連続で前年を下回ったものの、床面積が5ヵ月ぶり、工事費予定額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は4ヵ月ぶりで前年を上回った。内訳をみると、持家が11ヵ月連続で前年を下回ったものの、貸家が4ヵ月ぶり、分譲が2ヵ月連続で前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が2ヵ月連続、前年比が6ヵ月連続でそれぞれ下降した。業種別の前月比をみると、7業種で上昇し、12業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を上回るとともに、原数値が前年を上回った。また、雇用保険受給者実人員は19ヵ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は3月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

## 2. 県内経済動向の概要

## (1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		26年11月	12 月	27年1月	2 月	3 月	4 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	4.1	2.6	2.8	6.9	△ 6.4	8.7
	乗用車新車登録台数	△ 12.2	△ 5.6	△ 27.7	△ 21.0	△ 15.0	△ 8.1
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 39.8	135.3	△ 61.7	259.8	△ 25.5	30.9
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 10.2	△ 43.5	22.0	△ 31.4	27.5	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 1.0	1.1	△ 18.5	△ 30.7	△ 21.3	34.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注1</sup>	△ 8.6	△ 0.9	△ 6.6	△ 2.0	△ 8.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注1</sup>	0.21	0.24	0.24	0.16	0.06	0.04
	雇用保険受給者実人員	△ 20.6	△ 17.3	△ 18.2	△ 13.1	△ 12.5	△ 13.4

注1 原指数

## (2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		26年11月	12 月	27年1月	2 月	3 月	4 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.0	25.8	△ 18.7	△ 8.9	12.3	△ 5.9
	乗用車新車登録台数	4.9	△ 5.1	△ 3.1	17.3	66.3	△ 56.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 56.5	140.0	△ 48.3	129.2	△ 2.0	△ 6.7
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 67.8	31.1	11.7	△ 16.6	1.1	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	13.9	7.9	△ 43.0	36.9	△ 16.3	31.5
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注2</sup>	△ 0.2	3.3	2.7	△ 1.8	△ 1.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注2</sup>	0.01	0.06	0.01	△ 0.03	△ 0.09	0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 10.2	2.8	△ 2.5	△ 0.5	1.6	△ 1.7

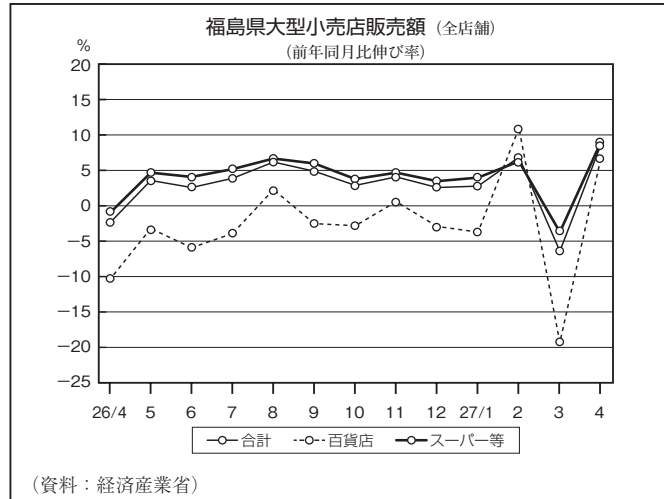
注2 季節調整値

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

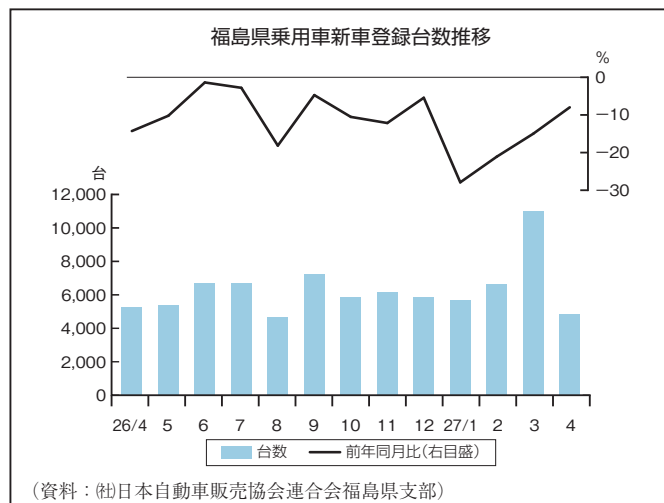
##### 大型小売店：2ヵ月ぶりで前年比増

4月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で204億65百万円（前年同月比+8.7%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、飲食料品、衣料品とも前年を上回り、合計では同+6.7%となった。また、スーパーも、飲食料品を中心に前年を上回ったことなどから、合計では同+9.0%となった。



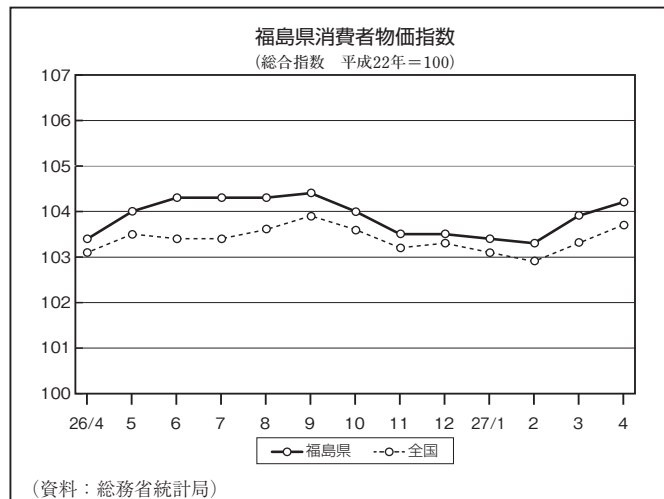
##### 乗用車販売：13ヵ月連続で前年比減

4月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で4,808台（前年同月比△8.1%）となり、13ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通車が1,265台（同△4.1%）と7ヵ月連続、小型車が1,631台（同△0.2%）と9ヵ月連続、軽乗用車が1,912台（同△16.1%）と4ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前年比、前月比とも上昇

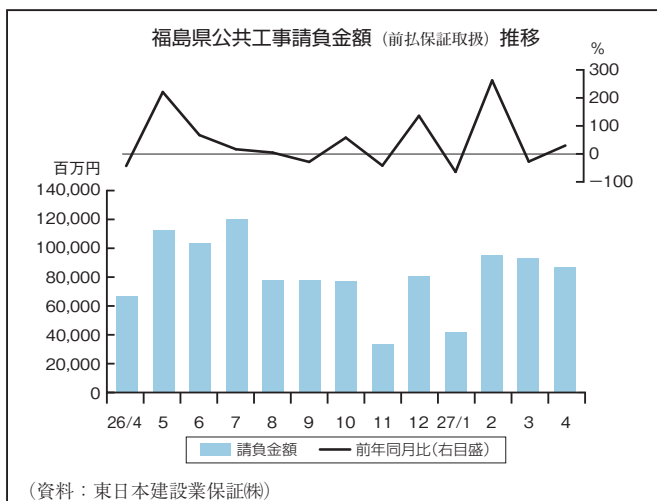
4月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、104.2と前月比+0.3%、前年同月比+0.7%となった。費目別に前月比で見ると、「被服及び履物」が107.0（前月比+2.7%）など6費目で上昇したものの、「交通通信」の104.7（同△0.8%）など4費目で下降した。



## 公共投資

### 公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比増

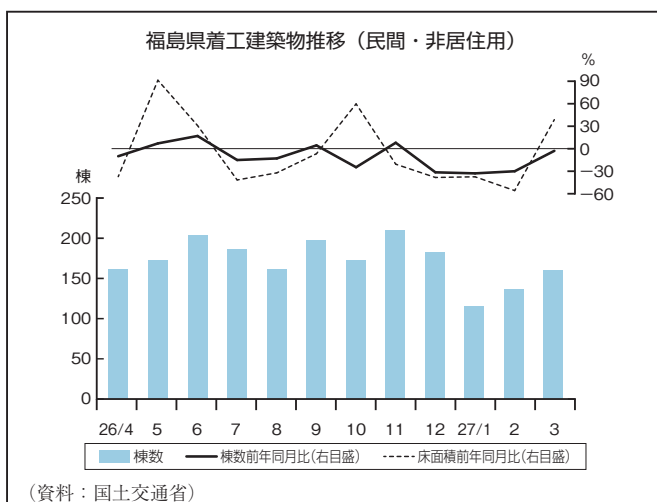
4月の公共工事前払保証取扱は、件数が445件（前年同月比+9.9%）と2ヵ月連続、保証金額が382億20百万円（同+28.3%）と3ヵ月連続、請負金額は878億円（同+30.9%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



## 設備投資

### 設備投資：工事費予定額が2ヵ月ぶりで前年比増

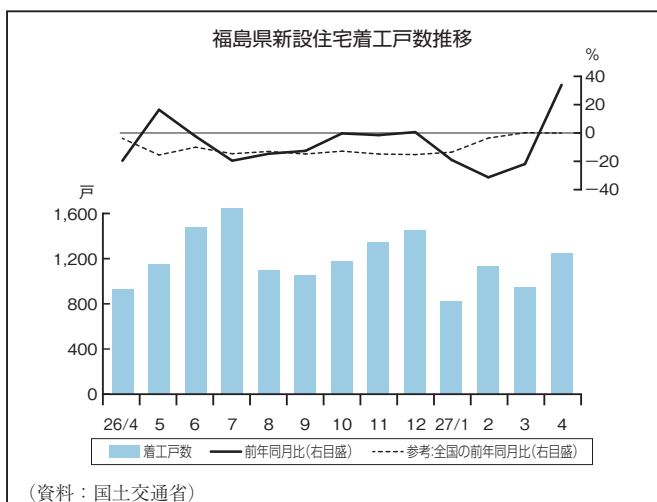
3月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が160棟（前年同月比△3.0%）と4ヵ月連続で前年を下回ったものの、床面積が88,469㎡（同+38.1%）と5ヵ月ぶり、工事費予定額が148億63百万円（同+27.5%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



## 住宅投資

### 住宅建設：4ヵ月ぶりで前年比増

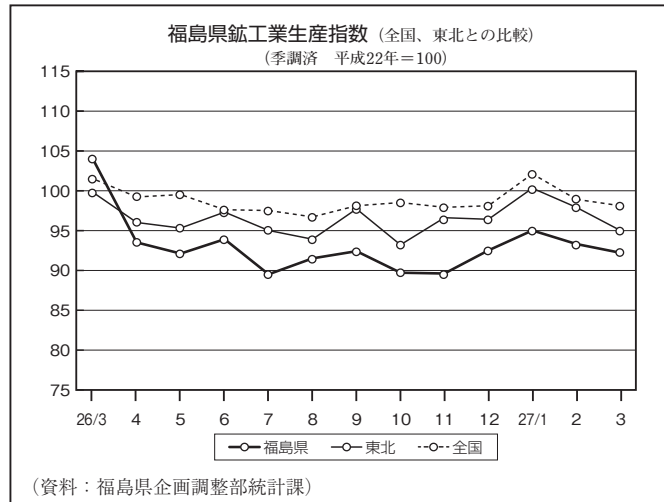
4月の県内新設住宅着工戸数は、1,245戸（前年同月比+34.3%）と4ヵ月ぶりで前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が510戸（同△6.9%）と11ヵ月連続で前年を下回ったが、「貸家」が596戸（同+92.3%）と4ヵ月ぶり、「分譲」が136戸（同+109.2%）と2ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比、前月比とも下降

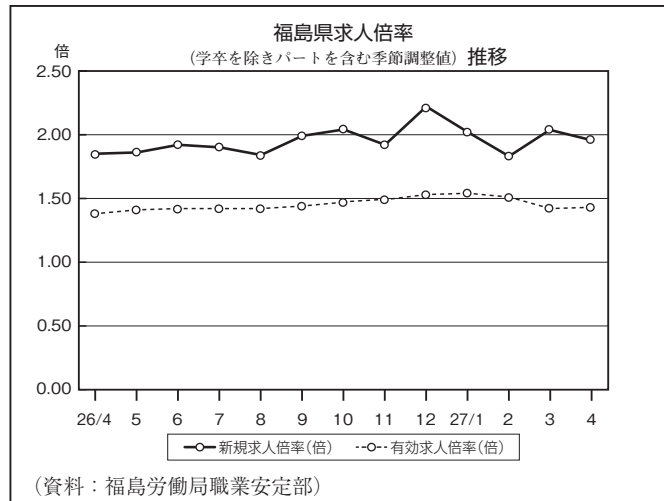
3月の鉱工業生産指数は、92.2（季節調整値）で前月比△1.3%と2ヵ月連続で前月を下回るとともに、原指数が101.8で前年比△8.4%と6ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「印刷業」（前月比+16.3%）など7業種で上昇したが、「鉱業」（同△13.6%）など12業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は61ヵ月連続前年比増

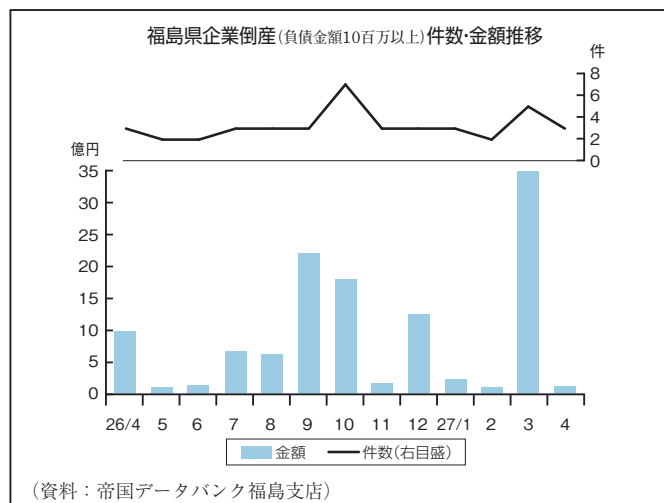
4月の新規求人倍率は、季節調整値が1.96倍（前月比△0.08ポイント）、原数値が1.48倍（前年同月比+0.03ポイント）となった。また、4月の有効求人倍率は、季節調整値が1.43倍（前月比+0.01ポイント）、原数値が1.30倍（前年同月比+0.04ポイント）と61ヵ月連続で前年を上回った。また、4月の雇用保険受給者実人員は5,789人（前年同月比△13.4%）と19ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：負債総額は前年比で減少

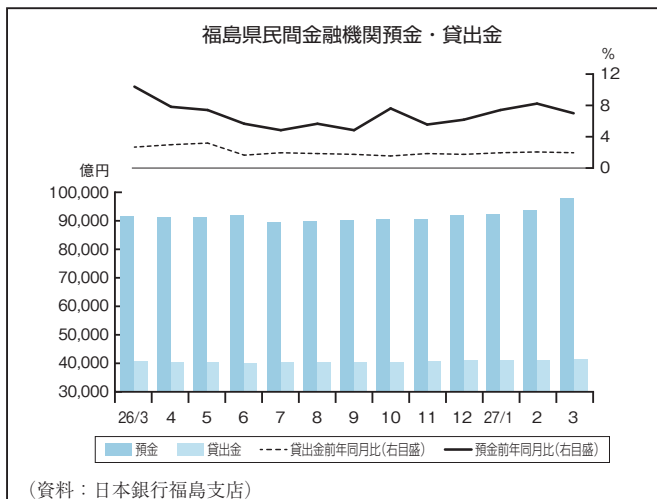
4月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比0.0%）、負債総額が1億37百万円（同△86.1%）となり、負債総額は前年を大きく下回った。業種別では、サービス業、製造業、卸売業が各1件となった。



金融動向

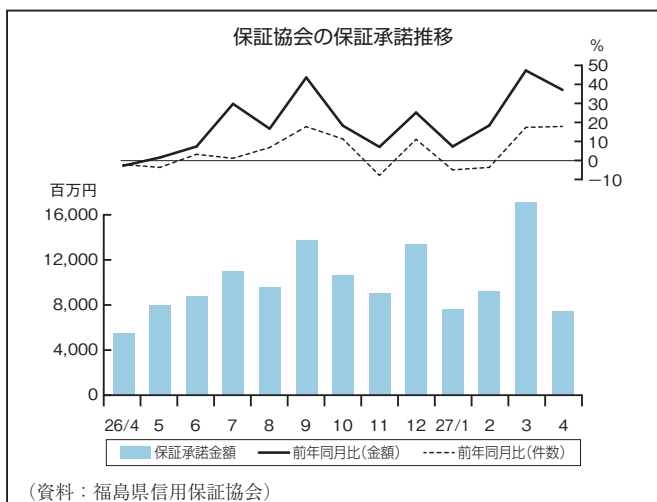
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の3月末の預金残高は、9兆8,156億円（前年同月比+6.8%）と97ヵ月連続、貸出金残高は、4兆1,474億円（同+1.9%）と22ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

4月の保証承諾は、件数が709件（前年同月比+17.8%）、保証金額が74億47百万円（同+37.1%）となった。また、4月末日現在の保証債務残高は、件数44,294件（同△8.0%）、金額3,914億21百万円（同△9.4%）となった。一方、4月中の代位弁済は、件数が6件（同△40.0%）、金額が37百万円（同△65.5%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

**家電量販店** 4月の家電量販店の売上高は、前年が消費増税前の駆け込みによる反動減から、低水準だったこともあり、エアコンや冷蔵庫、テレビなどを中心に前年比で増加しており、合計では前年を20%ほど上回った。

**ホームセンター** 4月のホームセンターの売上高は、食料品や日用品などが前年を下回ったことから、合計では前年を10%程度下回った。

**旅行** 3月の旅行取扱額は、国外が団体を中心に前年を上回ったものの、国内が前年割れとなり、合計

では前年実績を20%ほど下回った。

**高速道路** 4月の県内自動車道出入台数は、合計で5,154,782台（前年同月比+7.1%）と、5ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～山元IC）は1,560,720台（同+34.0%）と14ヵ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は578,472台（同+2.0%）と13ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。一方、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は435,741台（同△8.4%）と7ヵ月連続、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,579,849台（同△1.0%）と13ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

**福島空港** 4月の福島空港国内定期路線の利用状況は、17,552人（前年同月比△3.1%）と前年を下回っ

た。路線別にみると、札幌便は3,630人（同△41.8%）、大阪便は13,922人（同+17.2%）となった。（国際定期路線は全便運休）

**生産活動**

**化学** 4月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国からの受注量の伸び悩みが続いていることなどから、合計でも前年をわずかに下回る生産水準となっている。

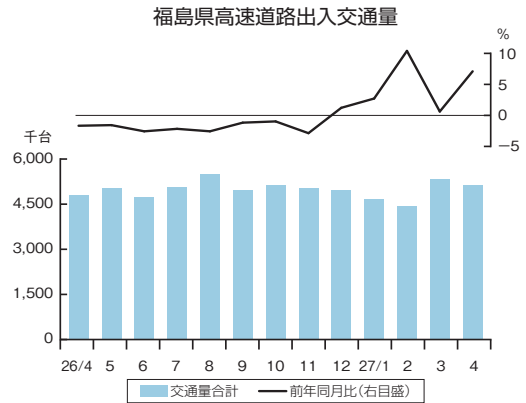
**鉄鋼・金属** 4月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年並みの水準となった。また、半導体向け電子材は、新興国の製品との競合が続いているものの、前年をわずかに上回る生産となった。4月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いていることなどから、前年を35%以上下回る生産となった。陸船用バルブは、中国などの低価格品との競合が続いているものの、国外を中心に受注量が増加したことから、前年を10%以上上回る生産となった。

**輸送用機械** 4月の鋳造品は、トラック用では、タイやインドネシアからの受注が減少しているものの、北米や国内向けの生産が堅調に推移しているため、合計では前年をわずかに上回る生産となった。一方、オイルシールは、国内の自動車販売が振るわず、在庫調整が続いていることなどから、合計では計画を5%程度下回る生産となった。

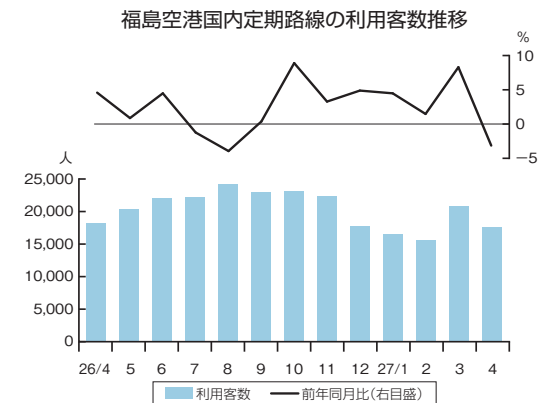
**電気機械** 4月の電気機械の生産は、変圧器が前年を上回ったものの、誘導炉および配電盤が前年を大きく下回ったことから、合計では前年を10%以上下回った。

**情報通信機械** 4月の情報通信機械は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）の生産が前年並みだったものの、国内向けモバイル基地局が設備投資の一巡などから、大幅な減産となり、合計では前年を40%ほど下回る生産水準となった。

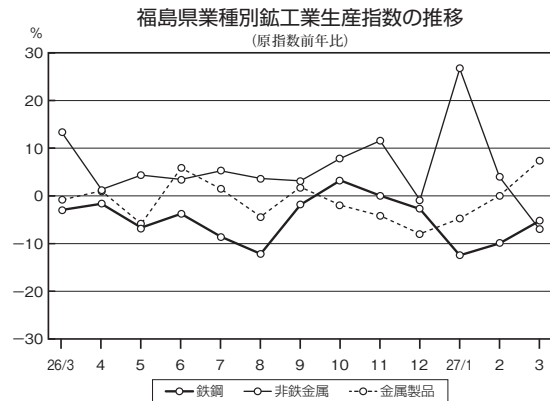
**電子部品・デバイス** 4月のLSI（大規模集積回路）の生産は、受注量がほぼ横ばいで推移しており、前年並みの水準を確保した。



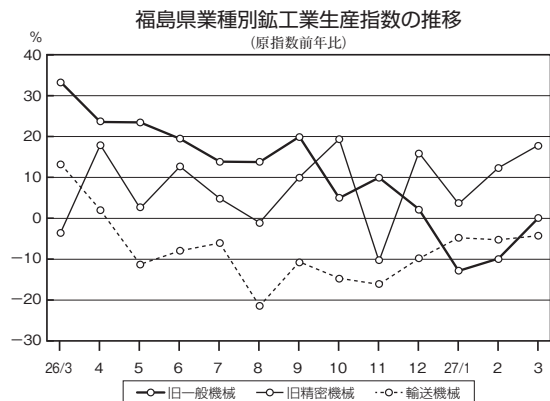
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県企画調整部統計課)

**精密機械** 4月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なことから、合計では前年を15%程度上回る生産水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内の受注増に加え、円安による海外受注の増加により、前年を10%ほど上回る生産となった。

**窯業・土石** 4月の生コンクリート出荷量は、全体で176,059m<sup>3</sup>（前年同月比+18.2%）と3ヵ月連続で前年を上回った。民需・官公需別にみると、官公需は白河を除いた5地区が前年を上回り、合計で同+51.7%となった。一方、民需はいわきと白河以外の4地区が前年を下回ったことから、合計で同△7.0%となった。

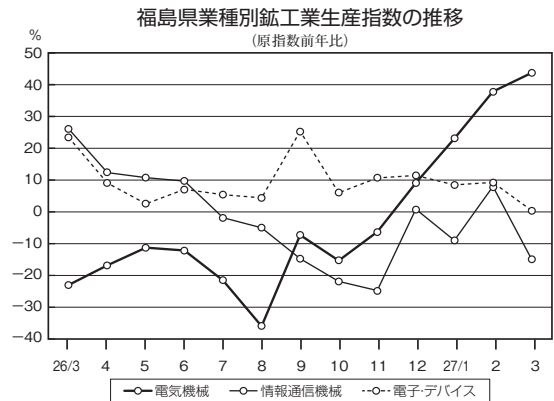
**紙・紙加工品** 4月の製紙は、ノーカーボン紙が前年を下回るなど、消費増税前の駆け込み需要による在庫不足の影響から、高水準だった前年を5%ほど下回る生産水準となった。

**清酒** 4月の清酒移出数量は、1,282kl（前年同月比+23.7%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が682kl（同+20.5%）と13ヵ月ぶり、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が600kl（同+27.5%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。

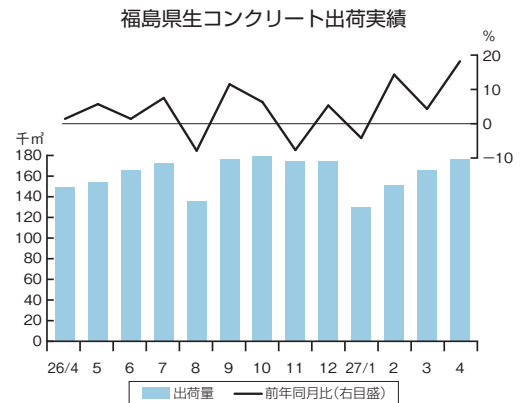
**化合繊維物** 4月の化合繊維物は、生産量、生産額とも前年を10%程度上回った。

**ニット** 4月のニットは、新規受注先の増加から、秋冬サンプル品を中心に操業度が上がっており、数量および金額とも、前年を30%ほど上回る生産となった。

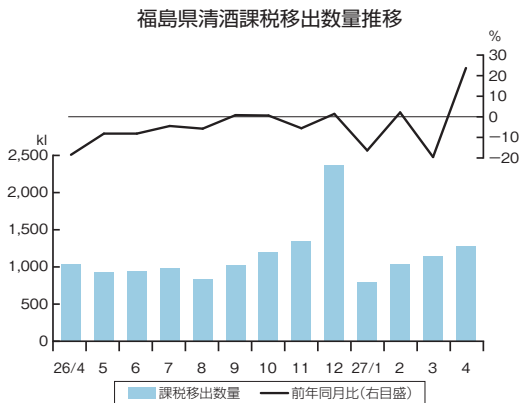
**大口電力** 4月の大口電力販売量は、476百万kw/h（前年同月比+2.5%）と11ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で107百万kw/h（前年同月比+6.3%）、「電気機械」で76百万kw/h（同+7.6%）、「輸送用機械」で48百万kw/h（同△4.9%）、「化学」で41百万kw/h（同△18.3%）、「一般機械」で24百万kw/h（同+0.2%）、「紙・パルプ」で27百万kw/h（同+61.4%）となっている。



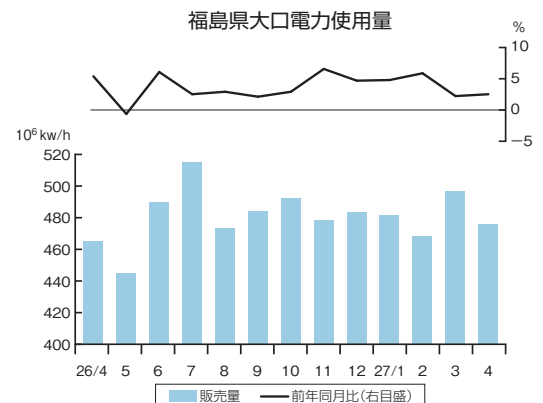
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)